

## シンポジウム「新たな脅威と国連の課題」のお知らせ 3月19日(金)

この度、外務省と国連大学の主催により、シンポジウム「新たな脅威と国連の課題」を下記のとおり開催することとなりましたのでご案内致します。

国際社会が、国際テロや大量破壊兵器、破綻国家といった新たな脅威への対応を模索する中で、イラク問題をめぐる国連の対応を契機として、国連のあり方が問われております。国際社会の普遍性を象徴する国連が効果的な安全保障機能を果たすためには、如何なる改革や措置が必要かについて議論し、今後の国際秩序を考える上でこの重要な課題について理解と認識を深めることを目的として行う公開シンポジウムです。

参加方法につきましては末尾をご参照頂きますようお願いいたします。

### 記

1. 日 時： 3月19日(金) 9:30 ~ 16:50 (8:45受付開始)
2. 場 所： 国連大学3階 ウ・タント国際会議場  
渋谷区神宮前5-53-70 地下鉄表参道B2出口  
(なお、車でのご来場はご遠慮下さい。)
3. プログラム： (若干の変更が有り得ますのでご了承下さい / 日英同時通訳)  
9:30  
開会挨拶 緒方 貞子 国際協力機構(JICA)理事長  
ラメシュ・タクール 国連大学上級副学長 ほか  
9:50 - 10:10  
冒頭発言 ラザリ・イスマイル 国連ミャンマー事務総長特使  
10:10 - 12:40  
第1セッション 「新たな脅威の現状と国連の役割」  
モデレーター： 横田 洋三 国連大学学長特別顧問  
[パート1] 「新たな脅威と国際社会、国連」  
スリン・ピッサワン 元タイ外務大臣  
北岡 伸一 東京大学教授  
国連事務局関係者  
(コーヒープレイク)  
[パート2] 「国連の果たすべき役割と国連改革」

柳井 俊二 国連大学学長上級顧問、中央大学教授  
ビラハリ・コーシカン シンガポール第二外務次官  
納家 政嗣 一橋大学教授

ディスカッサント： アリ・アラタス 元インドネシア外務大臣  
明石 康 日本政府代表 スリランカ和平構築及び復旧復興担当

(ブレイク 12:40 - 14:00)

14:00 - 16:50

第2セッション 「アジアにおける脅威への対応」

モデレーター： ラメシュ・タクール 国連大学上級副学長

[パート1] 「アジアにおけるケース・スタディ」

ヴィダール・ヘルゲセン ルウェー外務副大臣

明石 康 日本政府代表 スリランカ和平構築及び復旧復興担当

呉 俊 韓国外交通商部国際機構政策官

カマレシュ・シャルマ 国連東ティモール事務総長特別代表

(コーヒープレイク)

[パート2] 「アジアにおける新たな脅威と国連への期待」

ラルフ・コッサ パシフィック・フォーラムCSIS代表

秦 華孫 元国連中国常駐代表

全体総括 鶴岡 公二 外務省総合外交政策局審議官

16:50頃 終了予定

4. お問い合わせ先： シンポジウム「新たな脅威と国連の課題」参加登録事務局  
株式会社アーバンコネクションズ内 担当：加藤  
電話 03-5467-8239

ご出席希望の方は、以下の必要事項を記入の上、3月12日(金)までにシンポジウム「新たな脅威と国連の課題」参加登録事務局 (unchallenges@infoasia.co.jp) までご応募下さい。  
会場の座席数に限りがありますので、申し込み多数の場合には抽選とさせていただきます。  
参加の可否については、参加証のFAXでの送付をもって通知と替えさせていただきます。  
参加証は当日必ず受付にてご提示願います。

(もれなくご記入下さい)

1. お名前 2. ご所属 3. お役職 4. 電話番号 5. FAX番号